

2020年9月23日 第341号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
<http://www.kyodo-center.jp> mail: [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

## 総がかり行動実行委員会

戦争法強行から5年 国会正門前行動に3500人

「安倍政治」の継承を許さない！

市民と野党の共闘で政治を転換させよう！

戦争法強行から5年の9月19日、総がかり行動実行委員会と安倍9条改憲NO!全国市民アクションは「戦争法強行からまる5年 戦争法は廃止!いのちを守れ!改憲発議とめよう!国会正門前行動」を行い、3500人が参加しました。安倍政治を継承する菅政権から、市民と野党が共闘する政権へと転換させるため奮闘しあう決意を固めあいました。戦争法の成立を阻止するたたかいから戦争法廃止、安倍改憲発議阻止とたたかい続けている立憲野党から社会民主党の福島瑞穂参議院議員、立憲民主党の辻元清美衆議院議員、日本共産党の志位和夫衆議院議員が駆けつけあいさつしました。

総がかり行動実行委員会共同代表の小田川義和全労連顧問が主催者あいさつ。「安倍政権を退陣に追い込んだのは、私たちの運動の反映が安倍政治の行き詰まりをつくったからだ。自公政権に代わる野党が結束し広く市民が底支えする政権へ転換させるため決意を固めあおう」と訴え、「敵基地攻撃能力の保有は、攻撃される前に攻撃する先制攻撃だ。軍拡競争を、憲法9条を持つ国がすべきでない。たたかいを強めよう。憲法を破壊するか立憲主義への転換か対決軸は鮮明だ。政治を転換させ安倍政治に終止符を打とう」と呼びかけました。

法政大学の上西充子教授は「国会パブリックビューイングを行っているのは、専門家の指摘が通らない、継承されてきた憲法の解釈がゆがめられる、まともな審議が行われないことに問題意識を持ったからだ。今日を新たなスタートに新たな展開・発信を広げよう」と呼びかけました。

「止めよう!辺野古埋立て」国会包囲実行委員会の木村辰彦さんは「防衛局が辺野古埋立ての設計変更を申請したが、砂杭を何本打つかなどの説明がない。埋立てには国民の税金が使われており、全国の納税者が声をあげる必要がある。埋立ては技術的にも不可能であり、必ず止めることができると確信している。玉城知事あてに不承認にするよう意見書を出してほしい」と訴えました。



安法に反対するママの会の町田ひろみさんは「あきらめずに、揺るがず、子どもたちに戦争しない日本を残したいと声をあげ続けてきた。保育士をしているが、保育園は密状態で、すべてのものを消毒するなど感染に気をつけて働いている。自粛期間に保育所が閉まり、自宅待機になり無給になったのに、社会保険料は自己負担させられた仲間がいた。そんな中でもつながって自分たちで変えていこうという人たちもでている。こうした流れを、政治を変えようということにどうつながっていくかが課題だ。声をあげ続けよう」と呼びかけました。

9条を壊すな!実行委員会の菱山南帆子さんが行動提起。「安倍政権を退陣に追い込んだ。新しい段階への出発点であり、確信にしよう」と呼びかけ、オンラインシンポジウム、ウィメンズアクション、署名宣伝、19日行動などの行動への参加を呼びかけました。

#### \*当面の行動

**9月19日(土)～25日(金) 憲法共同センター「憲法いかして、いのちと暮らしを守れ!」  
全国統一週間 各地で取り組みの具体化を**

9月25日(金) 憲法共同センター総会 18時～ 全労連会館2階ホール  
9月26日(土) 総がかり行動実行委員会 オンラインシンポ 18時30分～ 配信開始  
10月8日(木) ウィメンズアクション 18時～ 有楽町・イトシア前  
10月13日(火) 総がかり行動実行委員会 署名宣伝 18時～ 新宿駅西口  
10月19日(月) 総がかり行動実行委員会 「19日行動」18時30分～国会議員会館前  
11月3日(火) 11・3国会正門前行動 13時30分～

## 「私の一言」届いています! その15

憲法共同センター「憲法リーフ」の署名ハガキが返信されています。そこにある「私の一言」欄に寄せられた言葉を紹介します。

アメリカのいいないになって軍事費が毎年増え続けています。どこの国と戦いたいのでしょうか。最近の安倍首相はコロナ対策にも翻顔だらけです。戦争体験者(1925年生)としても、平和な世界でありたいと願っています(愛知県知多郡から)。

戦争は勝っても負けてもたくさんの犠牲者を出し、自然が破壊されます。改憲より他国と仲良くし、ともに生きることを大切にしてほしい。改憲、自公政権反対!(北海道夕張郡から)。

「憲法9条改憲すること」は反対!!おじも2人、インパール作戦でいのちを亡くした。悲しい思いは、これ以上望まない!!(群馬県太田市から)。

自国の利益にとられることなく、国境を越えて「2度と戦争しない」という憲法9条を生かした平和外交と憲法前文にうたわれている「国際協調主義」の実現を求めています(長崎県南島原市から)。